

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-3-1 地域資源を活用した観光地づくりの推進
---------	-------------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	観光振興課長 木次 淳	電話番号	0852-22-5625
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	地域創生人材育成事業		
目的	(1) 対象	宿泊・観光事業者、求職者、Uターン希望者	
	(2) 意図	人材不足が課題となっている宿泊・観光施設への人材確保のため人材育成事業を実施する。	
事業概要	求職者やUターン希望者などを一定期間雇用し、宿泊・観光施設等に必要とされる接客・語学等の研修や宿泊施設等での実地研修を実施することによって、技能や知識の習得を図るとともに、経営者を対象とした人材育成等の研修を実施することによって宿泊業等への新規就職と将来を担う人材の育成に繋げる。 ○地域人材育成協議会を設置し、研修受講者の募集や人材育成の実施を調整・支援 ○人材派遣会社等による人材育成研修の実施 ○受講者と宿泊・観光施設等のマッチング		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位				
1	指標名 人材育成事業受講者数	目標値			25.0	25.0	25.0	人				
		取組目標値										
	式・定義 人材育成事業を受講する受講生の人数	実績値						達成率	-	-	-	-
2	指標名 宿泊・観光施設への新規就職者数	目標値			20.0	20.0	20.0	人				
		取組目標値										
	式・定義 人材育成事業受講生中、新規就職した人数	実績値						達成率	-	-	-	-

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	-	50,000
うち一般財源 (千円)	-	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	⑤今年度新規
---------------------	--------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

<ul style="list-style-type: none"> 10月に研修を開始することとし、人材育成研修受託事業者を決定した。 受講生の募集について、関係機関の協力により目標人数の25名を決定した。 効果的な研修内容とするため、関係する宿泊・観光施設への意見聴取を行った。
--

6. 成果があったこと (改善されたこと)

10月に受講生25名を決定し、研修を開始した。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」 受講生の中から観光産業へ20名の新規就職を目標としており、求職と求人の的確なマッチングを行う必要がある。

②困っている状況が発生している「原因」 求人倍率が高い状況(H28.8月 1.61倍)が続き、中でも研修生の就職先となる宿泊・観光施設は、総じて従業員が集まりにくい状況にある。
--

③原因を解消するための「課題」 研修を通じて、受講生に観光産業の実態と魅力を知ってもらい、就職に向けたモチベーションを更に引き上げる必要がある。特に、実地研修を有意義なものとするため、研修先企業との連携を密にする必要がある。
--

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

受講生の観光産業への理解が進むように研修委託先とカリキュラム内容の検証を進めるとともに、実地研修先企業での研修内容についても状況の把握を行う。今年度受講生の観光産業への就職を促進し、併せて来年度以降のカリキュラム内容の充実を図る。
